

令和5年度都立立川高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 対話的学びの中での思考力育成 「書く」ことの指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 教科会で指導計画・指導事項・指導方針について常時アップデート 議論・討論を通して、他者の反応をフィードバックしながら自己の考えを形成する授業の実践 読み手に正しく伝わる論理的な文章を「書く」活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 論理的文章を「書く」ための教材と評価のためのルーブリックの開発 生徒による評価基準作成と相互採点を通じた「書く」ことの学習 大学など主催の小論文コンテストへの応募
地理歴史 公民	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的・対話的で深い学び」の実現 難関大学に合格する受験対応力の育成 「働き方改革」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 レポート作成、「新聞」作成などの情報共有 課外補習、特別講習、個別指導を推進 探究活動と連動した校内外での取組を推進 教材、考査、採点などのデジタル化、情報共有化を図り、働き方改革を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動と連携し、校外研修や論文指導を通して、政治・経済、思想、歴史と文化などの分野に関心を持つ生徒の研究活動を支援 観点別評価について、「知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」・「主体的に学びに向かう態度」の観点を教科内で共有 1人1台端末、Teamsの活用、デジタル採点システムなどの情報共有
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数値化し、数学的に解釈・表現・処理する技能を身に付ける教材の開発 積極的に数学を活用する態度を養い、論理的に考察する活動を重視した授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程において統合的・発展的に考察し、評価・改善しようとする態度や創造性を養う授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テストの問題分析会を実施 考察・推論したことや結論についてのレポート提出を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大学研究室訪問で、探究の方法やレポートのまとめ方について学習 「探究の過程」を踏まえた授業の相互参観を実施
保健体育	活動内容と自己の役割の理解及びより効率的、効果的な活動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 作戦などの場面で合意形成をするために適切な情報を伝えて解決を図る。 活動計画に応じて、役割分担、人員配置、準備を行い、リスクマネジメントを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨海実習において、仲間と協力しながら自覚と責任をもって安全に実施 グループ学習において計画・実践・反省をグループで主体的に実施
英語	4技能のバランスの取れた学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> JETを活用した授業を積極的に行う。 CAN-DOリストを見直し、学習指導要領に適合するものにする。 大学の過去問を分析し、大学受験に関連付けた授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> SSEや課題研究においてJETの指導の下 presentation, debate 等を実施する。 オンライン英会話を言い言語運用能力を養う。 アメリカ、タイでの英語研修を実施する。 大学入試分析に基づく個人指導を行う。
家庭基礎	作業能力の向上	実習時間の確保、調理実習・被服実習の充実、探究活動との連携	金融教育に関する公民科等との連携、ICT教材を使用した住居平面図の作成
情報Ⅰ	情報的な見方を基にした思考力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 予習の徹底をはかり、学ぶ授業から、活用し知恵とする授業への改善 毎時間アウトプットを伴う活動を取り入れ、「説明できる知識」へのレベルアップ 学んだ知識を活用する実習を取り入れ、問題解決を軸にした考える授業の実施 探究活動との連携による、情報科の学びがすぐに役立つ授業設計 	<ul style="list-style-type: none"> SS課題研究Ⅰなどの探究活動や他教科における情報機器や学習内容の活用 情報オリンピックやコンテスト、イベントへの参加 3年間を見通した学びのスタイルの習得